

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 23 年 9 月 9 日

審査機関名 SGS ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	A 重油炉筒煙管ボイラーから都市ガス貫流ボイラーへの更新プロジェクト
排出削減事業者名	有限会社 マルモ食品工業
排出削減共同実施事業者名	静岡ガス株式会社
事業実施場所	有限会社 マルモ食品工業 (静岡県富士宮市弓沢町 235 番地)
事業の概要	本事業は、A 重油焚きボイラから高効率の都市ガス焚きボイラへ更新する事業である。
排出削減量の計画	2010 年度：72tCO ₂ /年 2011-12 年度：182tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 436tCO ₂)
国内クレジット 認証期間	開始日 2010 年 11 月 7 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している

3. 実施した審査手続の概要

審査手続により、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。</p> <p>排出削減事業実施場所：有限会社 マルモ食品工業 静岡県富士宮市弓沢町 235 番地</p> <p>事業実施サイトの視察日付：2011 年 7 月 29 日</p>
追加性を有すること	<p>1) 法的義務がないこと 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO2 排出量の削減を目的として実施されたことを関係者への質問等により確認した。</p> <p>2) 設備が継続利用可能なこと 排出削減事業を実施せず、設備更新を行わない場合、既存設備を継続して利用できることを、現地における関係者への質問及び関連書類で確認した。</p> <p>3) 投資回収年数 排出削減事業の投資回収年数は 38.1 年である。投資回収年数計算の根拠データについて、事業者及び関係者への質問及び検算、関連証憑との突合により適切性を確認している。</p> <p>4) 追加性判断における定性要因 本事業者は第2種住宅地域に位置し、周りを一般住宅に囲まれている環境にある。また、観光MAPにも載る企業であり、社会的責任として、地域環境保全および貢献を強く意識している。本事業による温室効果ガスの削減と排気ガスのクリーン化は企業として必要と考えており、この国内クレジット制度参加によって、これらの活動のアピール効果を期待できることも、本事業実施決定の一因になっている。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>排出削減事業者への質問、関係者への質問等により、本実施事業所が自主行動計画に参加していないことを確認している。</p>

<p>排出削減方法論に基づいて実施されること</p>	<p>1) 本排出削減事業は、承認済排出削減方法論 001 に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満たしていることを確認している。</p> <p>「方法論 001」</p> <p>適用条件 1：既存のボイラーよりも高効率のボイラーに更新していることをカタログ及び現地踏査にて確認した。</p> <p>適用条件 2：ボイラーの更新を行わなかった場合、事業実施前のボイラーを継続して利用できることをインタビューにて確認した。</p> <p>適用条件 3：事業実施後のボイラーで生産した蒸気は、自家消費されていることを現地踏査及びインタビューにて確認した。</p> <p>2) その他、バウンダリーの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリング方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p>
----------------------------	---

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

4. 特記事項

- ・特記事項なし

以上